

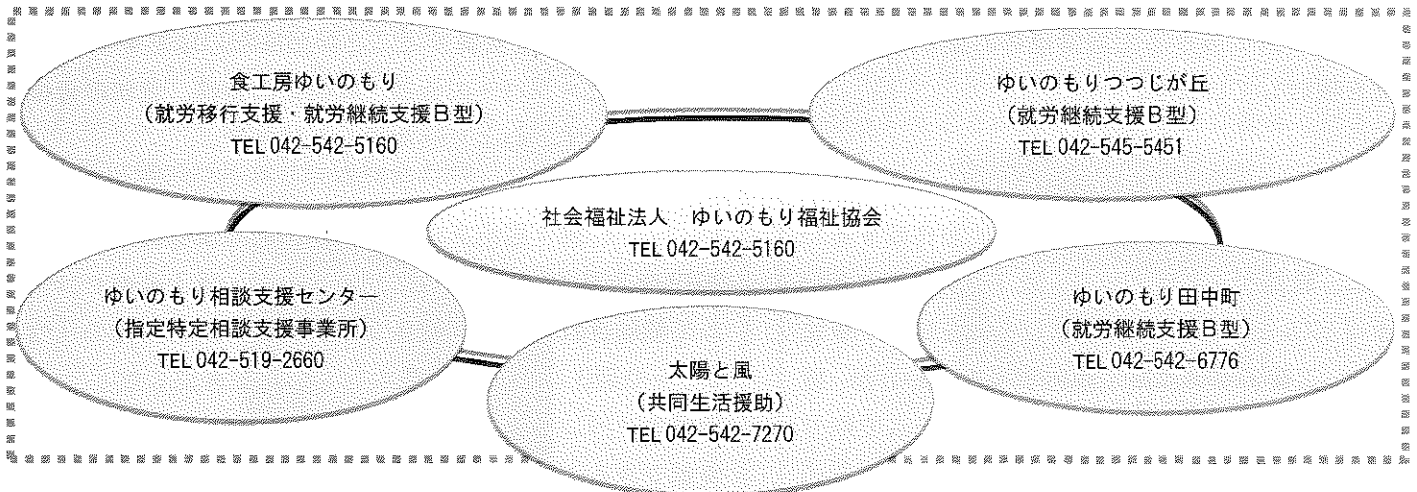
ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011

東京都昭島市上川原町 1-9-16

電話：042-542-5160



「働くこと」を今一度考えてみる

ゆいのもり福祉協会法人事務局長 田中 彰

今年度は、ゆいのもり第2期中期計画の初年度にあたります。その中期計画を決めるにあたって、昨年度1年をかけて職員が2つのテーマに分かれて話し合いを重ねてきました。一つは就労移行について、もう一つは利用者工賃の向上計画についてです。それぞれ就労系の事業としては中心テーマになることですが、今一度基本に立ち戻って考えてみることにしました。

就労移行については、昨年度5名の就労者を輩出することができました。その一方で毎年その水準を維持することは大変で、就労定着支援の難しさにも悩んでいます。また就労にかかわる職員の力量をどう高めるか、これも大きな課題になっています。

就労継続においては、年々工賃アップが強調されてきています。工賃額が右肩上がりということは理想ではありますが、限界もあります。地域生活を支えるという目的とのバランスを考えるとどのくらいの工賃を目指すべきなのか、病気と付き合いながらも、みなさんにどれだけ「働きたい」「稼ぎたい」という強い気持ちを持ってもらえるのか。職員が本気でみなさんに「働いてもらいたい」「稼いでもらいたい」と考え、みなさんが「働きたいと思える」作業を提供できるか。それらが課題である

ということが確認できました。

しかし「働く」ということを実現するためには「日常生活の安心・安定」という土台が不可欠であることを日々実感しています。特に精神的に生きにくさを抱えているということは常に不安定になる要素と隣り合わせだということです。だからこそ日々の様子を知ることが大切ですし、家族の支えやグループホームの活用などによって生活を安定的に保つ力をつけてもらうことが大切です。

ゆいのもりの役割は様々な形で生きにくさを抱える人たちが、日々暮らしていくなかで一步でも前に進めるようにサポートすることだと思っています。その結果としての就労であり、工賃アップです。私たち支援者も現状に満足することなく、少しずつでも利用者の皆さんとともに前に進んでいると実感できる取り組みをしていきたいと考えています。

○今年度は秋の活動報告会ではなく、
来春に学習会形式の会を開催する予定です○

今年は「産業祭」に出店します！（食工房）

2019年11月9日（土）10日（日）

チーズカレーパンを販売いたします！

法人本部



○田中町移転計画○

作業環境改善を目指して田中町の移転先を2年前より探しています。土地売買、建物賃貸と何件か検討してきましたが中々決定打が出ません。現在、市民の方から土地賃借のお話があり可能性を検討しています。

○職員研修○

昨年度は、「2019 - 2023 中期計画」を作成するために、職員が「工賃アップ」と「就労移行」という2グループに分かれて話し合いを続けてきました。工賃アップは第1優先事項なのかとか、就労移行は専門職員で対応するのかチームで取り組むのか、就労移行支援事業は続けていけるのかなど基本的なところから議論することができました。

○報酬改定の影響 1000 万円減額○

平成30年度の障がい福祉サービスの報酬改定により、就労系3事業所合わせて、訓練等給付費収入が約1000万円の減額となりました。2年後の報酬改定を見据えて就労系事業が果たす意義と実態を国に伝えていくとともに制度変化に応じた支援を考えていくことが重要になっています。

食工房ゆいのもり



○第7回昭島ブランド・フードグランプリ金賞受賞!○

2018年11月10日、11日に開催したフードグランプリで『昭島 SUN ウィンナー-CURRY パン』がゴールドグランプリを受賞しました!

3年連続で金賞を受賞することが出来たのはお手伝いをいただいたメンバーの皆様、関係者の皆様、地域の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

○第1回昭島矯正展に初出店しました○

2019年2月16日、17日に、東日本成人矯正医療センターにて開催された第1回昭島矯正展に初参加! 自慢の「ウィンナー-CURRY パン」を販売させていただきました!

地域のイベントを通して、少しでも地域社会・地域福祉に貢献できるよう、これからも尽力して参ります。

○日帰り研修旅行に行きました!○

山梨県へ桃狩りと「ル・ヴァン」というパン屋さんに見学へ行きました。天気にも恵まれ、美味しい桃をみんなで味わいました。そして、素敵な空気の流れるお店「ル・ヴァン」では、人気のマフィンをはじめ、様々なパンやクッキーを

お買い物。ゆいのもりでも出来る新しいパンや焼き菓子について皆で考え、意見交換ができました。



2019年度 新人職員 紹介

佐藤茉莉

(食工房ゆいのもり)

2月に入職し、パン製造の仕事は初めてですが日々励んでおります。先輩職員や利用者みなさんと信頼し合える関係を築けるよう、一日一日を大切にしています。



金山幸司

(ゆいのもりつつじが丘)

あきる野市に7人と犬1、猫2でワイワイ暮らしています。前職はパン屋で、歳は45になりますが、人生経験を活かしつつ一生懸命



頑張ります。

山根敏治

(食工房ゆいのもり)

パン職人として長年働き、障害者通所施設で8年程勤務して、この4月からゆいのもりでお世話になっています。職員・利用者さんに色々と



教わりながらの毎日です。よろしくお祈りします。

原常雄

(ゆいのもり田中町)

社会福祉士の取得を目指し勉強中です。メンバーの皆様と一緒に、目標に向かって歩み続けていけるように頑張っていきます。



ゆいのもりつつじが丘



●利用者みんなでアイデアを出し合い企画する
…手作り日帰り旅行！

2018年度は10月19日に「江の島・鎌倉旅行」へ行ってきました。江の島水族館の観光や鎌倉小町通り散策と皆さん自由に時間を使って興味があるところに行ったり、お土産を購入したり、食べ歩きをしたりとそれぞれ楽しんでいらっしやったようです。今回は観光バス会社に運転をお願いしましたので職員も快適に過ごすことができました。



●昭和公園の花壇作業委託開始！

2018年度は昭島駅・昭島市保健福祉センター（あいぽっく）・公民館・東中神駅の花壇作業の他に新たに昭和公園が加わりました。作業中に声をかけて下さる市民の方もおりとても励みになります。雨が少なく酷暑が続きましたが水撒きや除草を頑張り、秋まで花を楽しむことができました。

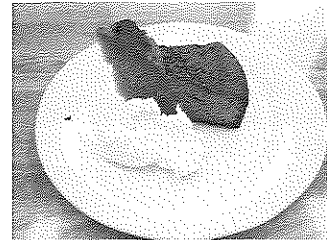


ゆいのもり田中町



○ケーキの種類が増えました☆○

新しく『きなこケーキ』が仲間入りしました。きなこことアクセントに甘納豆を使用し、ごまをトッピングしたとても優しい甘さのお味になっています。他にもチョコレートケーキやにんじんケーキ、シフォンケーキなど日替わりでご用意しております。ドリンクセットもございますので、ぜひご賞味ください。



○日帰りバス旅行○

7月に浅草と東京スカイツリーに行ってきました。今年は梅雨が長引いてしまったこともあり、旅行当日は生憎の雨模様でした。スカイツリーの展望台から見る景色は、一面も白い霧が掛かってしまい何も見えませんでした。（写真の右側の物がスカイツリーでの写真です。）いつかリベンジしたいです！



職員配属一覧 (2019.10.1現在)

食工房ゆいのもり

■常勤職員■

日向弘樹（施設長）
宮崎言葉 本橋剛
半田正博 佐藤茉莉
山根敏治

◆嘱託職員◆

澤邊美津子 岡本綾野

●非常勤職員●

宮尾久仁子 吉田浩子
加藤恵子 小西孝
内沼栄子 渡辺恭子
鈴木広直

ゆいのもりつつじが丘

■常勤職員■

嶋田敦子（施設長）
半田潤路 深津拓也
渡邊清美 金山幸司

●非常勤職員●

堀越志穂 西山雅秀
斎藤浩 渡辺弥生
銭村辰夫 小沢忍
長谷川三千穂 神山美津江

ゆいのもり田中町

■常勤職員■

田中彰（施設長）
近藤貴代子 日向亜侑
外山由佳（育児休暇）
小板橋良佑 原常雄
野田晴子

◆嘱託職員◆

皆川さおり 関根あずさ
井梅由美

●非常勤職員●

斎藤弥生 南部名頼

グループホーム太陽と風

■常勤職員■

浅川勤（施設長）
近真之 増川聡美

●非常勤職員●

高橋優子 奥田明子
有川明美 橋本陽子

ゆいのもり相談支援センター

■常勤職員■

嶋田敦子（兼任）
（センター長兼就労支援担当）

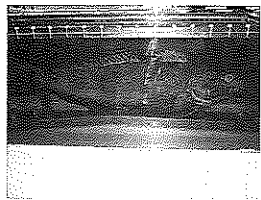
●非常勤職員●

久保稔

グループホーム太陽と風

○一泊旅行○

電車に乗ってディズニーランド、舞浜ユーラシア、葛西臨海水族園に行ってきました。



当日は雨で靴がびしょびしょになりましたが、ディズニーランドではアトラクションにスムーズに乗ることができました。



夜は夕食を食べながら花火を見て、温泉につかって癒されました。歩き回ってよい運動にもなった、豪華なツアーを楽しみました♪



ゆいのもり相談支援センター

○開設して5年目になりました○

2015年4月に開設し、今年で5年目になります。利用者数は45人になりました(2019年3月末)。サービス利用計画を一緒に考えて、市役所に提出します。

○福祉サービスの利用をお手伝いします○

2018年度 サービス計画 作成結果

- 就労移行支援…………… 2人
- 就労継続支援A型… 1人
- 就労継続支援B型…43人
- 共同生活援助(グループホーム)… 4人
- 居宅介護(ホームヘルプ) …… ……5人

○防災の備えは自分で身を守ることから○

- 1) いつも備えて置くもの
 - 水2ℓを3本 クッキー 薬(お薬手帳も)
 - 現金 手帳
- 2) 災害時は身を守る
 - ① 火を消す。頭に座布団か帽子。落下物が無いか見る
 - ② 避難所は、公園→小学校
 - ③ 生活用品と受診は相談しましょう。
 - ④ 夜はできるだけ睡眠をとりましょう(薬を飲む)

2018年度ゆいのもり福祉協会事業報告

【ゆいのもり福祉協会(法人本部)】

法人全体 重点目標	理念(障害のある方々が地域で自分らしく安心して暮らし、安心して働ける、温かい地域作りをしていきます)と新理事会体制で実現すべきゆいのもりの懸案事項(社会福祉法人制度改革・給付費減額・企業系事業所拡大の波を乗り越え、地域社会のために、利用者中心の『楽しく、ためになって、稼げる』支援に全力で取り組む)に従い以下の重点目標を実施した。
法人全体 評価と 課題	【1. 工賃アップへの取り組み】つつじが丘は新たな花壇管理の受注により月額平均工賃を1万円台にのせた。食工房は709円、田中町は932円それぞれ工賃アップを進めた。【2. 就労移行への取り組み】5名が就職した。就労移行支援事業開始以降の就職者の定着率は7割を超える。【3. グループホームによる地域生活支援】2名が退去し、単身生活を開始した。新たに5名の方が入居した。1名の方は長期入院の方である。【4. 田中町移転】もと社員寮の建物で現在検討中である。【5. 新給与制度開始】処遇改善加算を本俸自体に組み込むとともに職務に応じた給与体系を始めた【6. 訓練等給付費収入の激減】報酬単価の改定により、就労系事業では1600万円の減額予想をしたが、最終的に1000万円の減額にとどめることができた。【7. 虐待防止への取り組み】利用者委員の参加も得て定期的な虐待防止委員会の開催と事業所ごとの研修により虐待防止に取り組んだ。【8. 課題】工賃アップという視点だけではない、対話・お話し・コミュニケーションができる居場所的要素を持ち、かつ緩やかな働く場としての機能の維持、就労支援の充実、田中町移転による働く場の環境改善が、福祉サービス事業上の継続的課題である。また職員の育成・定着、安定収入の確保が経営面の課題である。

事業報告	(サービス向上) 1. 就労移行および工賃アップ 上記掲載 2. グループホームと相談支援センター連携による地域生活支援 3. 食品の安全衛生と清掃・除草作業の安全管理の徹底 (安定経営) 1. ゆいのもりつつじが丘の運営 職員体制の整備 2. 報酬改定による減収 上記掲載 3. 新給与制度運用開始 上記掲載 4. 税理事務所への会計業務委託の安定化 5. 指導検査指摘事項への対応 (人財育成) 1. 職場環境改善 ①中堅職員による職場環境懇談会 実施 2. 教育 ①担当者制により新人職員育成 ③役割に応じての研修の推進 ④「時間外ガイドライン」改訂 (その他) 1. 第二次中期計画の作成 2. 委員会で検討を重ねた 3. よりメンバーが活躍する活動報告会の実施、全メンバーが集えるイベント実施 (中期計画意見を聴く会実施) 4. 非常災害時体制計画の毎年度作成
------	--

【食工房ゆいのもり】

活動内容	作業活動	・パンカフェ作業 (工房でのパン製造・焼成、カフェ部門での接客作業、役所内・市内高齢者施設での販売) ・館内清掃 (館内外の清掃と作業環境整備) ・軽作業 (M社グッズ作業、T社ゼッケン部品作業など) ・事務業務 (工賃、交通費、給食申込等に係る計算、パソコンでの入力作業等) ・案内業務 (見学者および実習生等への活動等の紹介と施設案内等)			
	その他	・利用者ミーティング (月1~2回)、防災訓練、食品衛生および感染症の講座等 ・就労準備性/生活スキル向上、パソコン教室等 就職準備訓練や適応訓練への参加、就労プログラムへの参加等 ・日帰り旅行、一泊旅行、食事会、茶話会、昭島市チャレンジデー、ストレッチ体操等			
事業計画	(サービス向上) 1. 就労移行支援目標 就労者の輩出2名以上、3施設連携とプレ移行制度を進める。ICT 治具開始による就労向けパソコン講座 2. 就労継続支援B型目標 採算性は取れているため、効率的に進められる体制作りをしつつ、新事業の可能性も検討する。パンカフェにて次のことを実施し、工賃アップを目指す。①パン職員の技量を生かした製造に取り組む ②利用者とともに冷蔵パン製造と技量アップを図る ③地産地消の製品開発を進める。④昭島市等公的なイベントに参加する。⑤外部販売・販路の整理 ⑥パン製造本を作成する ⑦食道品表示法に沿った表示を作成する (収入確保) 1. 就労移行: 登録者7名、一日平均利用者5名を目指す。2. 就労継続B型: 登録者数42名、一日平均26名を目指す。(人財育成) 1. 研修計画に基づく職員研修の実施 2. 新入職員の育成とフォローアップ体制を整える 3. パン職員と協働していく (その他) 1. 店舗環境の改善に向けて継続して検討していく 2. 利用者支援充実のため、相談支援センターとの連携と協力を行う 3. 第三者評価受審に基づく事業点検・整備を行う 4. 食品の安全衛生の徹底 5. 事業所内の電灯類をLED化する				
事業報告	(サービス向上) 1. ①就労移行: 就労者の輩出5名、プレ移行5名目、システム確立新規プレ移行移籍なし 2018年度3名が就労移行へ 就職者が5名 就職活動中が2名、現場実習中が1名 2. 軽作業-1日延べ10~15名参加、採算に見合うため、時給アップ 冷蔵パン作業従事者延べ18名参加。工賃アップに向けて・販路開拓として3か所の屋行商・フードグランプリで約2241個販売、優勝・昭島市緑花フェスティバル・カフェ内に利用者の自主製品「縁むすび」コーナーを設置 (収入確保) 就労移行支援登録者は最大6名、一日平均4名利用、就労継続支援登録者は最大44名一日平均21名利用。 (人財育成) 1. 各職員が必要に応じた利用者支援研修その他本人希望の研修を受講・国家資格取得 (精神、社福各1名)・サビ管1名、就業基礎1名 2. 先輩職員との協働で業務を習得した。業務日報による振り返りを実施。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	6人	3人	1,154人	270日	3.9人
就労継続	34人	37人	5,635人	270日	20.9人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃 A/B
	17,347,063円		4,474,310円	447人	10,010円

【ゆいのもり つつじが丘】

活動内容	作業活動	・昭島市保健福祉センター清掃、定期清掃(ワックス)、花壇管理 ・軽作業 (タオルやシーツのたたみ作業) 手作りのお店「ゆいのもり」(つつじが丘店)の営業 ・除草作業、落ち葉清掃			
	その他	・食事づくり (火・木、1食250円1回20食程度) ・ミーティング (保健福祉センター清掃/1か月1回、行事のミーティング/2か月1回) ・就労プログラム、就労パソコン講座開設準備 ・行事 (外食、スポーツ、日帰り旅行、一泊旅行)・イベント参加 (いきいき健康フェスティバル等)			
事業計画	(サービス向上) 1. 工賃アップ・軽作業赤字構造の立て直しと作業量確保 2. プレ移行支援強化 3. パソコン講座開始 (安定経営) 1. 通所者数平均30名 (登録60名)を目指す (人財育成) 1. 職員個々の目標と研修計画を作成 2. 新人職員定着への職員体制 3. パート職員との定期ミーティング実施 (その他) つつじが丘6-114の有効活用および相談支援センターとの連携				
事業報告	(サービス向上) 1. 軽作業の赤字縮小。また昭和公園花壇管理を受託し工賃アップを図り、訓練等給付枠をワンランクアップできた。次年度に向け榊島町高齢者福祉センター清掃の新規受託ができた。2. プレ移行の支援強化 プレ移行登録は2名。就労希望利用者1名が食工房に移籍した。就労パソコン講座を開始した。(安定経営) 1. 登録者数は51~53名で推移し、1日平均利用者数30名を達成した。(人財育成) 1. 職員個々の希望の研修に参加、就業基礎研修の修了者を輩出できた。虐待防止研修を実施できた。2. 職員相互協力の下、新人職員の育成、職員定着平成29~30年度に職員退職 (管理者含む常勤3、嘱託非常勤4、それにとまなう異動2新規採用4) 変化が著しい状況下で、新入職員の育成をすすめてつつ、相互に補完協力して業務を進められた。 (その他) 1. つつじ6-114の有効活用 ①相談支援センターとして活用することができた。②「就労パソコン講座」を毎月定期的にも実施できた③就労プログラムの会場として活用できた。				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労継続	30人	51人	7,617人	253日	30.1人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃 A/B
	12,743,297円		5,760,067円	529人	10,889円

【ゆいのもり 田中町】

活動内容	作業活動	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶作業・弁当作業 喫茶森における接客、厨房作業、準備、片付け作業 つつじが丘事業所向け弁当作成作業 ・軽作業 箱折り、DM 作業等 ・お菓子（ケーキ等）の製造 ・除草・落ち葉作業 各所年 2～3 回、市内 4 か所および東京税関、災害医療センター ・公園清掃 週 1～2 回、上ノ台公園および拜島緑地広場 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・パティシエクラブ 年 3～4 回のお菓子作りのクラブ活動 ・メンバーミーティング 月 1 回作業と行事について話し合う。記録は交代でパソコン入力し通信を完成する。 ・就労プログラム 月 1 回 3 施設合同 ・防災訓練 7 月、2 月に実施 			
事業計画	(サービス向上) 1. 新報酬改定に対応した効率的事業所運営の実施 2. 作業の安定運営 3. プレ移行支援強化 4. 工賃 UP に向けての取り組み (収入の確保) 1. 通所者数 1 日平均 21 名 (登録者数 43 名) を目指す 2. 延べ利用者数の確保 (人財育成・教育) 1. 研修計画に基づく職員研修の実施 2. 各職員は人財育成制度を活用し目標設定 3. 短時間勤務職員中心の職員体制の確保 4. 新人職員の育成研修 (その他) 1. 事業所移転に向けて継続検討 2. 相談支援事務所との連携 3. 安全管理について				
事業報告	(サービス向上) 1. 開所日の増加、メンバーへの作業参加への働きかけにより総通所者数を伸ばすことができた。 2. 落ち葉清掃の継続獲得や軽作業先への働きかけを強めることにより、安定的作業確保ができるようになった。 3. プレ移行は、次期 4 月より新規登録者が 1 名。また 1 名を移行につなげ、就労者 1 名を輩出。 4. イキイキ健康フェスに初参加。介護福祉課と協力し、イベント営業を 2 回実施した。(収入の確保) 1. 通所者数 1 日平均 22.3 名達成。最大時登録者数 41 名まで増えた。 2. 夏休み期間や土曜日の開所など働きかけ、延べ利用者数が年間で約 600 名増加した。 (人財育成) 1. 中堅職員研修一外山、初任者研修一小板橋その他 食品衛生甲州、就労支援研修など。 2. 職員面談を適宜実施し、職員体制の変化に柔軟に対応できたが、人材育成制度の活用が不十分であった。 3. 短時間勤務職員の勤務を柔軟にし、嘱託職員との連携を強化する形で対応した。 4. 各業務に積極的に関わってもらうことを中心に OJT の形で育成指導した。 (その他) 1. 検討した結果、白樺層跡地は断念。再度候補範囲を広げつつ、継続検討している。施設整備事業説明会にも参加。 2. 視力低下の方の支援などを実現できた。 3. HACCP に基づく点検項目取り組み 実施				
就労継続	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
	20 人	38 人	5,779 人	258 日	22.3 人
工賃状況	総売り上げ	工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃 A/B	
	1,2535,837 円	4,045,660 円	436 人	9,279 円	

【ゆいのもり相談支援センター】

事業計画	昭島市の障害者等福祉に寄与する。 当法人の支援力向上に貢献する。 関係機関との連携・協力による地域福祉に貢献する。 安定経営 相談支援給付額収入と契約者数の年間目標 (41 名プラス 5 名) により安定経営を進める。		
事業報告	(昭島市の障害者等福祉への寄与) 昭島市民 36 人の福祉サービス利用の計画相談支援ができた。市外は 7 人の計画相談を行った (当法人の支援力向上) 受診同行・入院支援 2 人・自宅訪問で就労支援担当者の側面的支援ができた。相談の実務研修 1 名、現任者研修 3 名。各事業所の担当と協働で利用者の生活相談ができた。グループホームの会議に出席し、支援方法の検討をした。 (関係機関との連携・協力による地域福祉への貢献) 昭島市地域支援協議会の相談部会に参加。昭島市業務連絡会 (精神) 参加。ヘルパー事業所との連携で居宅支援の利用合計 5 名、訪問介護は、利用合計 7 名、A 型事業所利用の支援 1 名。(安定経営) 収入 (計画相談給付額約 182 万円) は、23.7 万円増で人件費の 95.7% であった。モニタリング件数が 16 件増なのに影響している。 (その他) 昭島市民以外で計画相談を行ったのは、近隣 4 市 (6 人) からゆいのもり利用者である。昭島市民で他紙の施設利用が、3 人 (多摩市内 A 型、立川市内 B 型、あきる野市 GH)		
	契約数	計画作成	モニタリング作成
	43 人	37 人	81 人

【グループホーム太陽と風】

活動内容	(個別支援) 日常生活相談、買い物・清掃・調理支援、金銭管理、服薬管理、計画作成支援、入退居支援、入退院支援、手続き関係支援、通院同行、居室訪問、安否確認、OB 支援、家族支援、支援機関ネットワークづくり支援 (定期的活動) 夕食会 (火・木)、メンバーミーティング、職員会議、防災訓練	
事業計画	(事業目標) 1. 入居者が地域生活になれることに力を注ぐ。 2. サービス管理責任者を 1 名養成する。 3. 入居・退去の支援を確実にいき、空室がでないようにする。 4. 夕食会の継続 5. 利用料のみなおし実施 (収入の確保) 共同生活援助: 定員 12 名 (風 6 名、空 6 名) 精神科医療連携体制加算取得のための体制作り (人財育成・教育) 1. 常勤職員全員が入退去時支援と請求事務を習得する。 2. 職員個々の目標設定と研修の計画的受講を始める 3. 定期職員会議にて、支援の共有し、支援力を向上させる。 4. 非常勤職員も含め、特定の職員しかできない業務を減らし、柔軟な業務体制を作れるようにする。(その他) 1. ゆいのもりの他事業所との交流、連携を図る。 2. 法人業務の賛助会事務を担当する。 3. 夕食会の安全衛生の徹底 担当職員の食品衛生責任者研修の受講	
事業報告	(事業目標) 1. 入居者が地域生活になれるよう通院同行、必要な支援に力を注いだ。 3. 入居・退居の支援を確実にいき、空室を出さなかった。 4. 夕食会の継続 5. 利用料のみなおし実施 古くなった冷蔵庫の更新を実施 (収入の確保) 精神科医療連携体制加算取得のための体制作り [月一以上の支援会議・受診同行・連絡等の記録を実施] ができた。(人財育成・教育) 2. 職員個々の目標設定と研修の計画的受講を進めた。サビ管、人権研修、医療観察法研修を受講した。 3. 定期職員会議にて、支援を共有し、支援力を高めることができた。(その他) 1. 職員が活動報告会の責任者となったおかげでゆいのもりの他事務所と理解が深まった。 2. 法人業務の賛助会事務を担当する。	
	定員	男女比
	12 名	男性 7 名、女性 5 名 (2018 年度末)
	年度内新規利用者 5 名 年度内利用終了者 2 名 うち単身生活 2 名、グループホーム入居 0 名	

2018年度 収支状況等報告一覧

貸借対照表 (2019年3月31日現在) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	188,762,857	168,775,576	19,987,281	流動負債	13,650,406	14,570,759	△ 920,353
現金預金	157,172,581	131,161,529	26,011,052	事業未払金	4,246,553	3,852,749	393,804
事業未収金	30,694,080	36,260,652	△ 5,566,572	預り金	4,223,937	5,200,302	△ 976,365
原材料	866,196	998,789	△ 132,593	賞与引当金	5,179,916	5,517,708	△ 337,792
立替金	0	354,606	△ 354,606	固定負債	1,320,000	1,030,000	290,000
仮払金	30,000	0	30,000	長期預り金	1,320,000	1,030,000	290,000
固定資産	288,879,199	281,074,677	7,804,522	負債の部合計	14,970,406	15,600,759	△ 630,353
基本資産	152,415,544	157,565,185	△ 5,149,641	純資産の部			
土地	107,332,361	107,332,361	0	基本金	59,192,923	59,192,923	0
建物	45,083,183	50,232,824	△ 5,149,641	国庫補助金等特別積立金	93,527,719	98,143,381	△ 4,615,662
その他固定資産	136,463,655	123,509,492	12,954,163	その他の積立金	109,469,853	97,569,853	11,900,000
建物	10,012,370	10,852,050	△ 839,680	その他の積立金	109,469,853	97,569,853	11,900,000
機械及び装置	102,149	135,353	△ 33,204	次期繰越活動増減差額	200,481,155	179,343,337	21,137,818
車両運搬具	4,939,561	4,310,385	629,176	(うち冬季活動増減差額)	33,037,818	26,775,450	6,262,368
器具及び備品	8,608,362	7,293,151	1,315,211				
権利	152,880	152,880	0				
投資有価証券	60,000	60,000	0				
その他積立資産	109,469,853	97,569,853	11,900,000				
人件費積立	6,930,000	6,930,000	0				
施設整備積立資産	102,539,853	90,639,853	11,900,000				
差入保証金	40,000	40,000	0				
長期前払費用	317,340	634,680	△ 317,340				
敷金	2,761,140	2,461,140	300,000	純資産の部合計	462,671,650	434,249,494	28,422,156
資産の部合計	477,642,056	449,850,253	27,791,803	負債及び純資産の部合計	477,642,056	449,850,253	27,791,803

事業活動内訳表(自 2018年4年1日 至 2019年3月31日) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会

勘定科目		合計	本部	食工房 ゆいのもり	ゆいのもり つつじが丘	ゆいのもり 田中町	太陽と風	相談支援 センター	内部取引 消去
サービ ス活 動増 減の 部	収								
	就労支援事業収益	42,667,674	0	17,420,202	12,711,635	12,535,837	0	0	0
	障害福祉サービス等事業収益	204,974,597	0	58,647,793	58,698,133	50,117,054	35,618,658	1,892,959	0
	経常経費寄附金収益	180,000	180,000	0	0	0	0	0	0
	その他の収益	16,400	0	8,000	8,400	0	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	247,838,671	180,000	76,075,995	71,418,168	62,652,891	35,618,658	1,892,959	0
	費								
	人件費	131,032,757	145,551	45,234,325	31,237,188	31,075,709	21,241,559	2,098,425	0
	事業費	15,694,337	0	6,471,089	4,275,670	3,108,919	1,837,459	1,200	0
	事務費	28,919,434	2,836,957	3,316,219	6,837,983	5,205,902	10,626,813	95,560	0
就労支援事業費用	40,294,441	0	16,495,103	12,416,101	11,383,237	0	0	0	
利用者負担軽減額	137,156	0	60,286	76,870	0	0	0	0	
減価償却費	10,688,494	1,924	7,852,789	1,384,523	1,389,802	59,456	0	0	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,615,661	△ 0	△ 4,341,782	△ 273,879	0	0	0	0	
サービス活動費用計(2)	222,150,958	2,984,432	75,088,029	55,954,456	52,163,569	33,765,287	2,195,185	0	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	25,687,713	△ 2,804,432	987,966	15,463,712	10,489,322	1,853,371	△ 302,226	0	
外増 減の 部	収								
	受取利息配当金収益	5,901	3,903	490	767	512	213	16	0
	その他のサービス活動外収益	1,168,690	332,430	13,298	33,682	29,090	760,190	0	0
	サービス活動外収益計(4)	1,174,591	336,333	13,788	34,449	29,602	760,403	16	0
	費								
その他のサービス活動外費用	6,924	0	△ 5,460	200	2,680	9,504	0	0	
サービス活動外費用計(5)	6,924	0	△ 5,460	200	2,680	9,504	0	0	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	1,167,667	336,333	19,248	34,249	26,922	750,899	16	0	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	26,855,380	△ 2,468,099	1,007,214	15,497,961	10,516,244	2,604,270	△ 302,210	0	
特 別 増 減 の 部	収								
	施設設備等補助金収益	260,000	0	0	260,000	0	0	0	0
	固定資産売却益	105,719	0	0	0	105,719	0	0	0
	拠点区分間繰入金収益	50,230	6,894,689	580,100	27,587	44,330	1,104,000	400,000	△ 9,000,476
	その他の特別収益	5,517,708	0	1,780,157	1,449,502	1,079,302	1,162,081	46,666	0
特別収益計(8)	5,933,657	6,894,689	2,360,257	1,737,089	1,229,351	2,266,081	446,666	△ 9,000,476	
費									
拠点区分間繰入金費用	50,230	79,787	4,214,366	2,120,484	1,915,369	720,700	0	△ 9,000,476	
特別費用計(9)	50,230	79,787	4,214,366	2,120,484	1,915,369	720,700	0	△ 9,000,476	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	5,883,427	6,814,902	△ 1,854,109	△ 383,395	△ 686,018	1,545,381	446,666	0	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	32,738,807	4,346,803	△ 846,895	15,114,566	9,830,226	4,149,651	144,456	0	
減 繰 差 額 活 動 増 減 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	179,343,337	3,180,567	55,719,201	76,851,842	39,362,137	2,331,654	1,897,936	0
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	212,082,144	7,527,370	54,872,306	91,966,408	49,192,363	6,481,305	2,042,392	0
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他積立金積立額(16)	11,900,000	3,820,000	600,000	1,330,000	6,150,000	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	200,182,144	3,707,370	54,272,306	90,636,408	43,042,363	6,481,305	2,042,392	0	

ゆいのもりの仲間たち

今回は、ゆいのもりの運営委員、そして社会福祉法人になってからも理事を長く務められ、今年6月に退任された吉村謙さんにお話をお聞きました。

□吉村さんの自己紹介と障害福祉との出会いを教えてください。

1988年に、横田基地の近くである拝島に居を構え、平和を祈りつつ、日本キリスト教団の牧師として拝島平安伝道所を開設しました。不思議な縁でゆいのもりと関わり、連れ合いが食工場の開設に関わり、2001年に、あきる野市で精神障がい者対象のグループホームを開設しました。

牧師になったころ、ホームレスの青年が教会を尋ね、暫く共同生活しますがうまくいかず、私も悩み、当時、地域の友人の義兄が昭島保険相談所長（遠藤先生、初代ゆいのもり理事長）に相談をし、統合失調症と診断され、生活保護を受けます。いわゆるケースワークをすることになります。そこから、精神障がい者との出会いが具体的に始まります。当時精神障がいのある方は長期入院を迫られ、人生をあきらめざるを得ない状況にありました。イエスは「悔い改めて、神の国を信じよ」と公生涯を始めて、神の御言葉を語り、癒しを行いました。聖書の人間理解と神の救いは神様から命を与えられると同時に、罪深い人間であり、神への悔い改めと、イエスの十字架による神の赦しとあがないによる神の愛を知り、どんな人もどんな時でも、神によって生かされ、賛美をして生きるというものです。そして、世界の

ゆいのもり賛助会へのご協力をお願い

これまで皆様のご協力により法人立ち上げ時の借入金の返済などに使わせていただきました。現在、ゆいのもり田中町の移転が課題になっています。活動に賛同してくださる方の協力がまだまだ必要です。賛助会への入会・ご協力をお願い申し上げます。

郵便振替：口座番号00190-0-671647

口座名：ゆいのもり賛助会 年間一口2000円（何口でも可）

<編集後記> 最近、運動のおかげでダイエットに成功しました！（AT）

吉村 謙さん（元理事）に聞く

人々が、神様から命を与えられた者として尊重し合い、共に生きることです。

□出発時から長くゆいのもりとともに歩んでこられた中で考えたこと、ゆいのもりへの期待はどんなことでしょうか。

一つめは、いろいろな人たちがゆいのもりを応援してくれたということです。どの一人が欠けても今のゆいのもりはできなかったでしょう。職員・利用者の頑張りがありました。土地を社会福祉のために提供したいとの申し出があり、初代理事長がいなければ法人認可は難しかった。資金もなく多くの方がご寄付くださった。今後も、様々な人の知恵や力を結集し、地域を耕し、困難な状況に置かれた者たちが、少しでも希望を見出せるような法人としての社会的責任を果たしてほしい。

二つめは、精神科の薬の変化により、精神障がいのある方のニーズが多様化してきたことです。支援者には利用者一人ひとりへの高い支援力が求められていることを自覚してほしい。

三つめは、福祉を取り巻く環境が厳しくなっていく中で、サービスを受ける人、サービスをする人ではなく、ゆいのもりの原点である『ゆい』、「助け、助けられ」という思いを大切に成長して行ってほしい。

（聞き手・浅川）

【ゆいのもり福祉協会 理事・評議員・監事 一覧】

（2019年10月1日現在）

浅川勤（理事長） 長瀬幸弘 池田正 久保稔
田中彰 嶋田敦子（新任） （以上、理事6名）
高橋由美 橋本久貴 荒井伸一郎 佐々木雄平
笈川信之 関禎一 渡辺おりえ
（以上、評議員7名）
田中文人 清水厚子 （以上、監事2名）

【ゆいのもりのホームページについて】

利用希望受入れ状況、職員募集、事業報告、決算、各事業所の製品の紹介が見られます。「ゆいのもり福祉協会」で検索してみてください。◆<http://yuinomori.or.jp/>